



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3591 URL <https://www.wacoalholdings.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役 社長執行役員 （氏名）矢島 昌明
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経営企画部長 （氏名）廣岡 勝也 TEL 075-682-1010
半期報告書提出予定日 2025年11月14日
配当支払開始予定日 2025年12月5日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前中間利益		中間利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	87,511	△2.9	3,045	32.2	21,541	86.5	20,166	57.4	12,332	41.5
2025年3月期中間期	90,167	△5.2	2,304	△39.6	11,551	—	12,815	—	8,715	—

	親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額		基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	12,418	41.5	20,988	—	243.98	243.31
2025年3月期中間期	8,773	—	1,854	△77.4	159.69	159.05

（注）事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	282,643	203,478	200,540	71.0
2025年3月期	272,745	195,120	192,047	70.4

（注）2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2026年3月期	—	50.00			
2026年3月期（予想）			—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	173,800	△0.1	△1,500	—	20,200	514.4	19,400	241.5	12,200	69.0

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	52,500,000株	2025年3月期	55,500,000株
2026年3月期中間期	2,691,243株	2025年3月期	3,840,910株
2026年3月期中間期	50,898,654株	2025年3月期中間期	54,938,466株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当中間期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当中間期の財政状態の概況	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 要約中間連結財政状態計算書	P. 6
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	P. 8
(3) 要約中間連結持分変動計算書	P. 10
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(セグメント情報)	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

① 当中間期の業績

(単位：百万円)

	2025年3月期 中間連結 会計期間	2026年3月期 中間連結 会計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	90,167	87,511	△2,656	△2.9%
売上原価	39,111	36,756	△2,355	△6.0%
売上総利益	51,056	50,755	△301	△0.6%
販売費及び一般管理費	48,752	47,710	△1,042	△2.1%
事業利益	2,304	3,045	+741	+32.2%
その他の収益	10,268	20,269	+10,001	+97.4%
その他の費用	1,021	1,773	+752	+73.7%
営業利益	11,551	21,541	+9,990	+86.5%
金融収益	992	1,015	+23	+2.3%
金融費用	295	410	+115	+39.0%
持分法による投資損益(△損失)	567	△1,980	△2,547	—
税引前中間利益	12,815	20,166	+7,351	+57.4%
親会社の所有者に帰属する中間利益	8,773	12,418	+3,645	+41.5%

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)の景況は、国内では、雇用や所得環境の改善を背景として緩やかな回復基調が続く一方、継続的な物価上昇による消費者マインドの下振れ、米国の通商政策に起因する先行きの不透明感などにより、下押しリスクを抱えています。また、海外においては、米国では実質賃金の改善が見られる一方で雇用の下振れ懸念が高まっており、欧州ではインフレ後の景気の回復スピードがやや鈍化しています。中国では消費者マインドの停滞により内需の回復が遅れており、世界経済全体としては不確実性が依然として残る状況です。

このような環境において、当社グループは、引き続き「収益力の改善に向けたビジネスモデル改革」、「「VISION2030」達成に向けた成長戦略」、「ROICマネジメントの導入」、「アセットライト化の推進」に取り組みました。国内においては、引き続き中核ブランドの「WACOAL(ワコール)」のリブランディング施策に注力したほか、コンディショニングウェアブランド「CW-X(シーダブリュー・エックス)」の拡販を推し進めました。また、顧客戦略の一環として、3D計測サービス「SCANBE(スキャンビー)」において、従来店頭のみで提供していた「わたしに合うブラ診断」をアップデートし、自社EC上でもサービス提供を開始しました。EC上でお客さまのボディタイプをもとにブラジャー選びをサポートするとともに、3D計測を体験されていないお客さまでも、セルフ診断によってボディタイプを推定できるようにすることで、店頭に限らずより多くのお客さまに対してパーソナライズされた購買体験の提供を実現しています。海外においては、米国でEC強化を目的として、主要ECプラットフォームにおける広告費用の投下を継続しているほか、8月より関税による調達価格上昇を販売価格へ一部転嫁しました。英国で、直営店と自社ECを展開するBravissimo Group Limited(以下、Bravissimo Group)との経営統合を推し進め、顧客接点の開発やECを基軸とした成長戦略に取り組みました。なお、6月に発生した物流倉庫の火災の影響により自社ECにおける商品の出荷を一時停止していましたが、9月1日より順次出荷を再開しています。そのほか、国内において、新京都ビル売却や自己株式の取得等、継続的に資産効率の向上に取り組みしました。

売上収益については、主要国におけるレディスインナーウェア等の販売の伸び悩みに加え、前期から当期にかけて事業ポートフォリオを見直し、一部の不採算事業を売却した結果、当期への減収影響が生じました。利益面については、不採算事業の対処やBravissimo Groupの買収に伴う小売売上比率の上昇により売上総利益率が改善したほか、各社においてコストコントロールを実施しました。なお、営業利益については、前述の新京都ビル等の固定資産売却益(176億47百万円)が寄与しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の連結売上収益は875億11百万円(前年同期比2.9%減)、事業利益は30億45百万円(前年同期比32.2%増)、営業利益は215億41百万円(前年同期比86.5%増)、税引前中間利益は201億66百万円(前年同期比57.4%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益は124億18百万円(前年同期比41.5%増)となりました。

なお、当該期間の為替換算レートは、1米ドル=146.04円(前年同期152.63円)、1英ポンド=195.96円(同195.46円)、1中国元=20.30円(同21.15円)です。

② 報告セグメントの営業概況

(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	中間連結 会計期間	構成比	中間連結 会計期間	構成比	増減額	増減率
売上収益合計	90,167	100.0%	87,511	100.0%	△2,656	△2.9%
ワコール事業(国内)	45,006	49.9%	44,193	50.5%	△813	△1.8%
ワコール事業(海外)	34,549	38.3%	35,117	40.1%	+568	+1.6%
ピーチ・ジョン事業	5,165	5.7%	5,543	6.3%	+378	+7.3%
その他	5,447	6.1%	2,658	3.1%	△2,789	△51.2%

(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	中間連結 会計期間	売上比	中間連結 会計期間	売上比	増減額	増減率
営業利益(△損失)	11,551	12.8%	21,541	24.6%	+9,990	+86.5%
ワコール事業(国内)	8,497	18.9%	18,632	42.2%	+10,135	+119.3%
ワコール事業(海外)	2,783	8.1%	2,270	6.5%	△513	△18.4%
ピーチ・ジョン事業	△44	—	56	1.0%	+100	—
その他	315	5.8%	583	21.9%	+268	+85.1%

a. ワコール事業(国内)

当中間連結会計期間は、EC事業は引き続き伸長したものの、実店舗における販売は、量販店を中心とした実店舗の閉店に加え、来店客数の減少などにより低調に推移しました。

ブランド別では、プロモーション強化および展開店舗の拡大に努める「CW-X」やノンワイヤーブラを中心に展開する「GOCOCi(ゴコチ)」、シンクロブラトップが引き続き好調の「Wing(ウイング)」がいずれも前年を超える水準で推移しました。一方、前期にリブランディングを実施した中核ブランドの「WACOAL」は、認知率は向上したものの購買意欲の喚起に至らず、前年同期を下回って着地しました。また、直営店を中心に展開する「AMPHI(アンフィ)」や、百貨店を中心に展開するナイトウェア類も、店舗閉店や売場縮小、来店客数減少の影響を受けて販売が低迷し、ブランド・商材別に強弱が入り混じる結果となりました。

チャネル別では、実店舗においては閉店や来店客数減少の影響が大きく、全体では低調が続くものの、前年より推進している店頭在庫の適正化および充足率の改善については一定の効果が得られました。一方、ECについては、自社EC・他社ECともに堅調な成長を継続しており、全体を下支えています。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は441億93百万円(前年同期比1.8%減)となりました。営業利益は、新京都ビル等の固定資産売却益の計上が寄与したことから、186億32百万円(前年同期比119.3%増)と大幅な増益となりました。

b. ワコール事業(海外)

当中間連結会計期間において、ワコールインターナショナル(米国)は、政策動向の不透明感が続く中、得意先による仕入抑制が一段と厳しさを増し、売上は前年同期を下回りました。チャネル別では、百貨店については仕入抑制に加え、大手得意先の閉店影響も重なり、厳しい状況が続きました。ECについては、主要ECプラットフォームにおいて販売が好調に推移するものの、百貨店と同様に仕入抑制の影響を受け、納品が想定通りに進行しませんでした。一方、自社ECについては、UI・UXの改善を目的として一部のブランドでプラットフォームを刷新した結果、売上が前年同期を上回る水準で推移しました。

ワコールヨーロッパは、昨年9月に買収したBravissimo Groupの売上が寄与し、売上は前年同期を上回りましたが、6月に発生した物流倉庫における火災(※1)により、自社ECにおける出荷を約2か月間停止した結果、機会損失が発生しました。当該物流倉庫には火災保険を付保しており、火災によって発生した在庫や建物等の現物損失に加え、出荷停止に伴う逸失利益等についても保険金によって補填される見込みです。なお、被害額の算定には一定の時間を要し、当中間連結会計期間では保険金の一部のみを計上しています。

中国ワコールは、消費者の価格感応度の高まりにより、実店舗・ECともに引き続き苦戦し、売上は前年同期を下回りました。一方で、ブランド価値の訴求を目的とした各種施策に取り組んでおり、店舗イメージの刷新を図った百貨店の店舗改装については、該当店舗において売上が約20%増加するなど、一定の成果が見られました。また、第1四半期に続きプロパー販売を強化したことにより、売上総利益率の改善傾向も継続しています。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は351億17百万円（前年同期比1.6%増）となりました。営業利益は22億70百万円（前年同期比18.4%減）となりました。

c. ピーチ・ジョン事業

当中間連結会計期間については、引き続き新規顧客の獲得強化に重点を置いたコミュニケーション施策や商品戦略が奏功し、ECが好調であったほか、直営店での販売も堅調に推移しました。商品面では、第1四半期に引き続き定番商品の「ナイスバディブラ」「盛れるノンワイヤーブラ」の好調が継続し、販促面では、有名タレントを起用したプロモーションで想定以上の集客効果を得られました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は55億43百万円（前年同期比7.3%増）となりました。営業利益は、56百万円（前年同期は44百万円の営業損失）となりました。

d. その他

当該セグメントの売上収益は、七彩、ルシアンとの連結除外が影響し、26億58百万円（前年同期比51.2%減）となりました。一方、連結子会社における一部事業の譲渡益が寄与（※2）し、営業利益は、5億83百万円（前年同期比85.1%増）と大幅な増益となりました。

※1 2025年6月27日付「英国子会社の物流倉庫における小規模火災発生に関するお知らせ」

<https://www.wacoalholdings.jp/news/pdf.html?dn=20250627503162>

※2 2024年12月26日付「連結子会社における一部事業の譲渡に関するお知らせ」

<https://www.wacoalholdings.jp/news/pdf.html?dn=20241226544921>

(参考) 主要子会社の売上収益・営業利益（△損失）

(単位：百万円)

売上収益	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	中間連結 会計期間	構成比	中間連結 会計期間	構成比	増減額	増減率
ワコール	42,094	46.7%	41,745	47.7%	△349	△0.8%
ワコールインターナショナル(米国)	14,402	16.0%	12,425	14.2%	△1,977	△13.7%
ワコールヨーロッパ	11,490	12.7%	15,858	18.1%	+4,368	+38.0%
中国ワコール	4,525	5.0%	3,425	3.9%	△1,100	△24.3%
ピーチ・ジョン	5,165	5.7%	5,543	6.3%	+378	+7.3%

※外部売上収益のみを記載しています。

(単位：百万円)

営業利益（△損失）	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	中間連結 会計期間	売上比	中間連結 会計期間	売上比	増減額	増減率
ワコール	9,761	23.2%	17,082	40.9%	+7,321	+75.0%
ワコールインターナショナル(米国)	1,233	8.6%	823	6.6%	△410	△33.3%
ワコールヨーロッパ	940	8.2%	936	5.9%	△4	△0.4%
中国ワコール	△248	—	△335	—	△87	—
ピーチ・ジョン	△44	—	56	1.0%	+100	—

（2）当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債、株主資本等の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、現金及び現金同等物が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して98億98百万円増加し、2,826億43百万円となりました。

負債は、借入金が増加したものの、未払法人所得税や繰延税金負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して15億40百万円増加し、791億65百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、新京都ビルの売却により利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して84億93百万円増加し、2,005億40百万円となりました。

以上の結果により、当中間連結会計期間末における親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末に比して0.6ポイント増加し、71.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して154億19百万円増加し、388億38百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、中間利益123億32百万円に減価償却費及び償却費や法人所得税費用などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、83億28百万円の収入（前年同期に比し30億35百万円の収入増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産等の売却などにより、237億1百万円の収入（前年同期に比し198億34百万円の収入増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得などにより、179億64百万円の支出（前年同期に比し137億68百万円の支出増）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想については、2025年5月15日に公表した連結業績予想を変更しています。詳細については、本日公表の「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ及び次期中期経営計画の公表延期について」をご覧ください。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	23,419	38,838
営業債権及びその他の債権	16,835	16,399
その他の金融資産	2,007	3,522
棚卸資産	50,226	50,253
その他の流動資産	7,406	4,716
流動資産合計	99,893	113,728
非流動資産		
有形固定資産	43,252	35,311
使用権資産	12,398	11,595
のれん	15,199	15,671
無形資産	12,323	11,537
投資不動産	1,634	2,739
持分法で会計処理されている投資	20,064	18,752
その他の金融資産	42,022	47,400
退職給付に係る資産	18,399	18,593
繰延税金資産	6,879	6,560
その他の非流動資産	682	757
非流動資産合計	172,852	168,915
資産合計	272,745	282,643

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	11,915	6,682
リース負債	4,704	4,241
営業債務及びその他の債務	15,778	14,157
その他の金融負債	916	903
未払法人所得税	3,019	6,474
その他の流動負債	13,716	13,266
流動負債合計	50,048	45,723
非流動負債		
借入金	2,554	5,498
リース負債	7,924	7,575
退職給付に係る負債	1,621	1,249
繰延税金負債	14,185	17,830
その他の非流動負債	1,293	1,290
非流動負債合計	27,577	33,442
負債合計	77,625	79,165
資本		
資本金	13,260	13,260
資本剰余金	4,311	280
利益剰余金	153,808	156,282
その他の資本の構成要素	38,636	44,349
自己株式	△17,968	△13,631
親会社の所有者に帰属する持分合計	192,047	200,540
非支配持分	3,073	2,938
資本合計	195,120	203,478
負債及び資本合計	272,745	282,643

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書
(要約中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
		%		%
売上収益	90,167	100.0	87,511	100.0
売上原価	△39,111	△43.4	△36,756	△42.0
販売費及び一般管理費	△48,752	△54.1	△47,710	△54.5
その他の収益	10,268	11.4	20,269	23.1
その他の費用	△1,021	△1.1	△1,773	△2.0
営業利益	11,551	12.8	21,541	24.6
金融収益	992	1.1	1,015	1.2
金融費用	△295	△0.3	△410	△0.5
持分法による投資損益(△は損失)	567	0.6	△10	△0.0
持分法による投資の減損損失	—	—	△1,970	△2.3
税引前中間利益	12,815	14.2	20,166	23.0
法人所得税費用	△4,100	△4.5	△7,834	△8.9
中間利益	8,715	9.7	12,332	14.1
中間利益の帰属				
親会社の所有者	8,773	9.7	12,418	14.2
非支配持分	△58	△0.0	△86	△0.1
中間利益	8,715	9.7	12,332	14.1
1株当たり中間利益				
基本的1株当たり中間利益(円)	159.69		243.98	
希薄化後1株当たり中間利益(円)	159.05		243.31	

(要約中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間利益	8,715	12,332
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△4,724	6,671
確定給付制度の再測定	—	37
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△144	163
純損益に振り替えられることのない項目合計	△4,868	6,871
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,177	1,508
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	184	277
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1,993	1,785
その他の包括利益合計	△6,861	8,656
中間包括利益	1,854	20,988
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,890	21,023
非支配持分	△36	△35
中間包括利益	1,854	20,988

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	自己株式	合計		
2024年4月1日残高	13,260	20,550	148,494	46,784	△17,259	211,829	3,313	215,142
中間利益(△損失)			8,773			8,773	△58	8,715
その他の包括利益				△6,883		△6,883	22	△6,861
中間包括利益合計	—	—	8,773	△6,883	—	1,890	△36	1,854
自己株式の取得					△4,061	△4,061		△4,061
自己株式の消却		△16,011			16,011	—		—
株式報酬取引		△95			155	60		60
配当金			△2,753			△2,753	△107	△2,860
子会社の支配喪失に伴う変動							△2	△2
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			1,304	△1,304		—		—
所有者との取引額合計	—	△16,106	△1,449	△1,304	12,105	△6,754	△109	△6,863
2024年9月30日残高	13,260	4,444	155,818	38,597	△5,154	206,965	3,168	210,133

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 百万円)

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	自己株式	合計		
2025年4月1日残高	13,260	4,311	153,808	38,636	△17,968	192,047	3,073	195,120
中間利益(△損失)			12,418			12,418	△86	12,332
その他の包括利益				8,605		8,605	51	8,656
中間包括利益合計	—	—	12,418	8,605	—	21,023	△35	20,988
自己株式の取得		△6			△9,968	△9,974		△9,974
自己株式の消却		△3,802	△10,253		14,055	—		—
株式報酬取引		△223			250	27		27
配当金			△2,583			△2,583	△100	△2,683
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			2,892	△2,892		—		—
所有者との取引額合計	—	△4,031	△9,944	△2,892	4,337	△12,530	△100	△12,630
2025年9月30日残高	13,260	280	156,282	44,349	△13,631	200,540	2,938	203,478

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
中間利益	8,715	12,332
減価償却費及び償却費	5,635	5,571
減損損失	365	—
金融収益	△992	△1,015
金融費用	295	410
持分法による投資損益(△は益)	△567	10
持分法による投資の減損損失	—	1,970
法人所得税費用	4,100	7,834
固定資産売却損益(△は益)	△9,043	△17,620
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	3,612	127
棚卸資産の増減額(△は増加)	△126	341
その他の資産の増減額(△は増加)	△199	△462
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△1,935	△706
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△493	△572
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,135	353
その他	△1,074	120
小計	7,158	8,693
利息の受取額	234	206
配当金の受取額	1,326	1,361
利息の支払額	△189	△372
法人所得税の支払額	△4,187	△3,556
法人所得税の還付額	951	1,996
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,293	8,328
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	984	6,237
定期預金の預入による支出	△931	△7,686
有形固定資産等の取得による支出	△1,279	△2,552
有形固定資産等の売却による収入	10,527	23,900
無形資産の取得による支出	△521	△405
その他の金融資産の取得による支出	△56	△68
その他の金融資産の売却及び償還による収入	1,579	4,292
子会社の取得による支出	△7,352	—
子会社の売却による収入	858	—
子会社の売却による支出	—	△295
その他	58	278
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,867	23,701
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,089	—
長期借入れによる収入	3,909	3,331
長期借入金の返済による支出	△1,526	△5,820
リース負債の返済による支出	△2,747	△2,824
自己株式の取得による支出	△4,061	△9,968
親会社の所有者への配当金の支払額	△2,753	△2,583
非支配持分への配当金の支払額	△107	△100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,196	△17,964

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△943	59
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	1,295
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,021	15,419
現金及び現金同等物の期首残高	33,547	23,419
現金及び現金同等物の中間期末残高	37,568	38,838

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントに関する情報

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	45,006	34,549	5,165	84,720	5,447	—	90,167
セグメント間の内部売上収益	223	6,502	65	6,790	1,787	△8,577	—
合計	45,229	41,051	5,230	91,510	7,234	△8,577	90,167
セグメント利益(△損失) (注) 2	8,497	2,783	△44	11,236	315	—	11,551

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ルシアン事業等を含みます。

2. セグメント利益(△損失)の合計については、要約中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。なお、営業利益から税引前中間利益までの調整については、要約中間連結損益計算書に記載のとおりです。

3. セグメント間取引は、原価に利益を加算した金額で行われています。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	44,193	35,117	5,543	84,853	2,658	—	87,511
セグメント間の内部売上収益	245	6,817	111	7,173	1,041	△8,214	—
合計	44,438	41,934	5,654	92,026	3,699	△8,214	87,511
セグメント利益(注) 2	18,632	2,270	56	20,958	583	—	21,541

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Ai事業等を含みます。

2. セグメント利益の合計については、要約中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。なお、営業利益から税引前中間利益までの調整については、要約中間連結損益計算書に記載のとおりです。

3. セグメント間取引は、原価に利益を加算した金額で行われています。

(2) 地域別に関する情報

外部顧客に対する売上収益の地域別内訳は以下のとおりであります。

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
日本	55,040	51,877
アジア・オセアニア	10,194	8,227
欧米	24,933	27,407
合計	90,167	87,511

(注) 1. 売上収益は連結会社の所在地を基礎とし分類したものであります。

2. 欧米のうち、米国における前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間の売上収益は、それぞれ17,029百万円及び14,786百万円であり、英国における前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間の売上収益は、それぞれ4,404百万円及び8,688百万円であります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。